

120604 二条紋蜉蝣…って？

今、溪流沿いには「カゲロウ」や「カワゲラ」がたくさん飛んでいます。
先週、見つけたのは「フタスジモンカゲロウ」という種でした。

◆写真①～③： フタスジモンカゲロウ

◇カゲロウ目の仲間は、非常に原始的な昆虫で、羽化した後も更に1回脱皮し、
亜成虫から成虫となります。

◇成虫は何も食べず、数時間で寿命が尽きてしまう種もありますので、儚い命
の象徴とされていますね。

◇幼虫は溪流の中で暮らしており、羽化しても水辺から離れませんので、魚にと
っては恰好の餌となることから、ルアーフィッシングの“疑似餌”のモデルと
なっています。

◇フタスジモンカゲロウは、体長2 cm強の大型のモンカゲロウで、尾は3本に分
かれています。

◇写真の個体は、接写していても全然動きませんでしたので、撮影されるのが好
きなのかな、と思っていたのですが、よくよく見ると…
側に抜け殻があったのです！

◇羽化したてなのか、或いは亜成虫から成虫へ羽化したところなのでしょうね。

◆写真④・⑤： ヤマトシリアゲ

◇死んだ虫やアマガエルなどを餌としており、太くて鋭い口を獲物に突き刺して体
液を吸う、というのがこの種の食事スタイルです。

◇ちなみにこの種は、交尾の際にオスがメスにプレゼントをすることでも有名なの
です。

◇オスは虫の死体などの上で待機していて、やってきたメスに獲物を譲って、メス
が食事をしている間に交尾するようです。

◇4枚目の写真はオスで、腹端はサソリのように反り返っています。
これでは“シリアゲ”どころか“シリソリ”と言った方が適当かも知れません…

◇5枚目の写真はメスで、こちらは“シリアゲ”というほどには上げていませんね。









